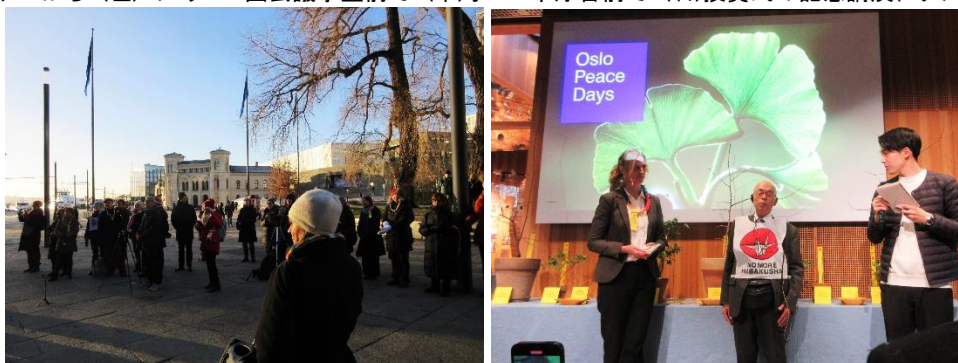


世界に向かって核兵器廃絶を訴える



ノーベル平和賞ツアーから (左)ノルウェー国会議事堂前で (中)オスロ市庁舎前で (右)授賞式の記念講演(メダルはノーベルの肖像)



(左)上の市庁舎前での被爆証言を聴く人々(背景はノーベル平和センター) (右)オスロ大学植物園で被爆銀杏の種子贈呈式

千葉 YMCA ニュースボード
2025 年 1 月 1 日 第 303 号
<https://www.chibaymca.net/>

被団協にノーベル賞 YMCA 関係者もオスロへ

2024 年のノーベル平和賞が日本被団協に授与されたことは周知のとおり。しかし、この被団協が 1956 年に広島 YMCA を会場として発足したことはあまり知られていません。その後 70 年近く、広島 YMCA は被団協とも連携しつつ、世界平和を目指す地道な活動を続けてきました。

千葉では YMCA 元常議員の青木清子会員(広島出身)が、被団協の構成団体である千葉県原爆被爆者友愛会の理事として奉仕している関係で、今回のノーベル賞授賞式に合わせ、夫一芳(本紙編集集子)と共にオスロを訪問し、現地での行動に参加しました。このツアーの概略をご報告し、会員皆様にこの受賞の意義を分かち合いたいと願います。

○市庁舎前のイベントで証言活動

12 月 10 日の授賞式の前日、式場

となるオスロ市庁舎の前の広場で、青木会員が被爆体験と現在までの活動(特に小中学校での「語り部」)について証言を行いました。

○オスロ大学に被爆樹の種苗

その日の午後、ツアー一行はオスロ大学の植物園を訪れました。被爆した銀杏の種子(ギンナン)を同園に贈呈し、その育成を託しました。この役は広島県被団協理事長佐久間邦彦さん(広島 YMCA 会員)が務め、「物言わぬ植物は人間のなす業をじっと見ている」と挨拶しました。

○平和センターで授賞の特別展示

10 日の授賞式。正式の代表団 30 名は市庁舎に入り、ツアーの 50 名余は近くの図書館のホールで中継映像を見守りました(上の講演)。式の後、平和センターへ移動し、翌日から 2 か月間公開される今回受賞の被団協についての特別展示を内覧、時刻には松明行進して市民に核兵器廃絶をアピールしました。

なお広島 YMCA 職員中奥岳生氏が公式カメラマンとして同行しました。

◆市民クリスマス in 千葉

12 月 7 日の市民クリスマス in 千葉、千葉市民会館大ホールで開催されました。田辺岩雄牧師のクリスマスメッセージ、ゴスペル歌手岩瀬まこと・由美子夫妻の弾き語りコンサートは参加者に深い共感を呼びました。



千葉 YMCA は市民クリスマス in 千葉の事務局を務めています。

- 千葉センター 043-222-3811
 - 船橋地域デポ 047-425-6366
 - 千葉市少年自然の家
chiba-shizen.jp 0475-35-1131
 - 千葉市立千城台みらい小学校アフタースクール 043-236-1701
 - 千葉市立坂月小学校アフタースクール 043-236-5550
 - 千葉市立千城台東小学校アフタースクール 043-237-7376
- ニュースボード編集: 青木一芳(理事)
メール kkaoki@myad.jp